

年間指導計画および評価の計画作成に当たって

本資料は、令和6年度版 光村図書 小学校「国語」を使用するに当たって、年間指導計画を作成する際に参考になることを意図して作成したものである。年間指導計画の作成に当たっては、学習指導要領の基本的な考え方と国語科の目標を根底に据えつつ、カリキュラム・マネジメントの観点から、新教科書を活用して、それをいかに各学校の実態に応じて実効性のあるものにするかに配慮されたい。

(1) 指導計画の作成について

指導計画の作成においては、教科書の単元の構成や配列を踏まえつつ、それを各学校・学級の実態に応じて最適化していくことが求められる。そのためには、教科書の各単元の特性を、単元に想定されている指導内容・言語活動の面で捉え直し、その特性がよりいきるように指導計画を立てていくことが大切であろう。

例えば、次のような観点が考えられる。

- ① 前の学年の学習経験や身につけた力を考慮して
- ② 学校独自の「総合的な学習の時間」との連携を図って
- ③ 教材の話題・題材・活動内容から他教科等との関連を図って
- ④ 学校行事や地域の行事との関連を図って
- ⑤ 年間を見通した「帯」としての扱いで

(2) 評価の計画作成について

本資料における評価項目は、学習指導要領の指導事項を基にして作成した。こうした評価は、単に児童の実現状況を見るのではなく、一人一人の児童の成長のためにいかされなければならない。

(3) 配当時数について

学習指導要領では、各学年における領域別配当時間が下の表のように定められている。令和6年度版 光村図書 小学校「国語」は、この時間数を踏まえて、各教材に時間を配当している。

内容 \ 学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
総授業時数	306	315	245	245	175	175
話すこと・聞くこと	35	35	30	30	25	25
書くこと	100	100	85	85	55	55
書写	30	30	30	30	30	30
読むこと その他（〔知識及び技能〕の取り立てを含む）	141	150	100	100	65	65

※学習指導要領では書写の1、2年生の時間数は定められていないが、ここでは、3年以上と同等の時間数を想定した。